

Library News



大山崎中学校図書館

令和8年 1月

厳しい寒さになってきました。

夏の暑さが恋しくなるような寒い日々が続いています。

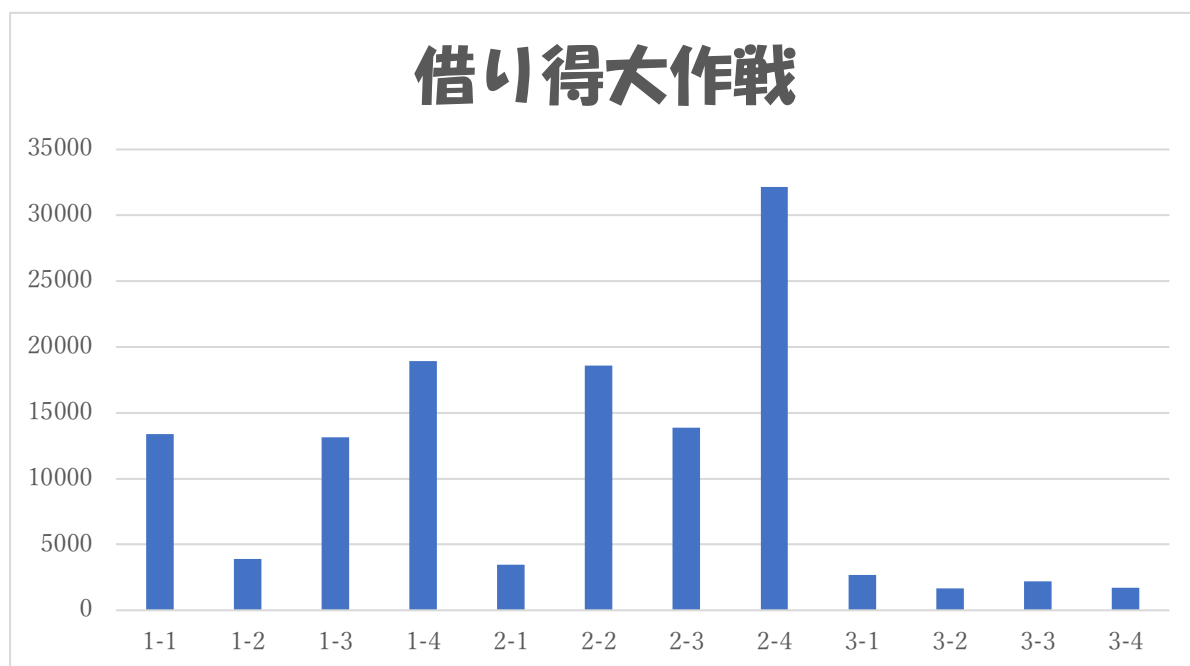
1月20日は大寒、そしてシマエナガの日です。1年で最も寒いのでシマエナガが最もふくらんでかわいくなる日なのだから。こんな日は出かけないで読書にかぎりますね。



借り得大作戦進行中

12月から始まった借り得大作戦。冬休み中、図書館で借りた本を読んで得をした人はどれくらいいるでしょうか？今回は返却された本のみカウントしますので、読み終わった本はすみやかに返却をお願いします。

(1月14日放課後現在のデータです。)



新着本から

『滅びのカラス』 『救国のカラス』 櫻いいよ PHP 研究所
青春恋愛もので人気の櫻いいよさん初のファンタジーです。主人公は冥と涅槃という双子の姉弟。二人は中学生になってまもなく一緒に川に落ちてしまいます。冥が気がつくそこは異世界。黒い制服を着ていたことから滅びのカラスだと言われ、とらえられ処刑されそうになります。一方、涅槃は……



『四月のある晴れた朝に』

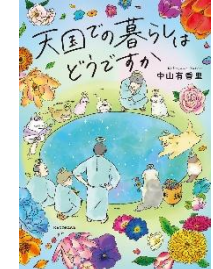
100パーセントの女の子に出会うことについて』 村上春樹 新潮社
青春文学の騎手として世界的な作家となった村上春樹もいまや大御所の部類に入っていました。まだ村上春樹に触れたことのない若い読者さんにおすすめの超短編集が出版されました。長い表題作と『鏡』という2編が収録されています。どちらも村上春樹が駆け出しのころ書いた短編。40年たった今でも色あせない普遍的な人の一面が描かれています。村上さんの希望で台湾の高妍さんがイラストを担当し作品世界を広げています。



『警察怪談 報告書に載らなかった怖い話』 藍峯ジュン 角川書店
警察官という仕事は事故や事件に関わるが多いため、必然的に多くの怪異現象に遭遇しているのでは？と考えた筆者は警察官でしたが、そのような経験は残念ながらありません。そこで、同僚に聞いて回った結果、出て来る、出て来る怖い話。人気 YouTuber 藍峯さん初の書籍化。



『天国での暮らしはどうか』 中山有香里 KADOKAWA
飼い主と別れて天国へ行ったペットたちを主人公とした漫画です。天国にいったものの、残してきた主人のことが心配でならないネコのたまサブローは一度だけ下界に戻してもらうことができ……他、いろいろな死後の動物たちの飼い主への気持ちが描かれていて泣けてきます。



司書のひとこと 昨日の本棚から

『普天を我が手に 第一部』 奥田英朗 KADOKAWA

奥田英朗による昭和 100 年の物語。第一部はたった 1 週間しかなかった昭和元年に 4 人の子どもが生まれるところから始まります。軍人、やくざ、社会活動家、満州へ渡る興行師、それぞれの親の人生を描きつつ、昭和元年から太平洋戦争勃発までを描く第一部を読みました。奥田英朗といえば『オリンピックの身代金』という昭和 39 年のオリンピック前の日本を熱く描いた傑作がありますが、これはもう少し長い 100 年間の日本。小説としての熱さは『オリンピック身代金』の方が勝りますが、長いだけあって、今後の展開にワクワクが止まりません。第二部は成長した 4 人の子どもたちが描かれていくこととなりそうです。バラバラに育った彼らの人生がどう交差していくのか、第三部まであるのでしばらくは十分楽しめそうです。



